

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	グループホームあい(風ユニット)	評価実施年月日	平成20年6月1日
評価実施構成員氏名	工藤 三佳 ・ 鳴海 文義 ・ 三浦 洋平 ・ 富樫 真希 ・ 伍楼 玲子 ・ 竹内 亮太 ・ 木島 暢子		
記録者氏名	工藤 三佳	記録年月日	平成20年7月10日

北 海 道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>主となる理念を職員一同で話し合い考え、わかりやすく、親しみのある理念に変更。事務所前に掲示している。また、地域密着サービスの意義を日常的に確認し話すよう努力している。</p>		
<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>管理者は職員は理念を共有し、理念の実践に向け取り組んでいる。又、職員採用時、実習生の受け入れの際は理念を伝え理解してもらるようにしている。</p>		
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。</p>	<p>家族の方には説明し、会報を利用し取り組んでいる。しかし、地域の方との接点がまだまだ不足である。</p>	○	町会に、町会用ホーム便りを置いて貰っている
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>日常的に散歩や買い物へ出掛け近隣の方と接するよう努めている。又、行事の際にはポスターを作り近隣の方への参加を呼びかけている。</p>		
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>出来る限り町会の行事には参加しているがまだまだ不十分である。</p>		
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>実習生の受け入れ、職場体験学習の受け入れも積極的に行っている。また、スタッフ研修、家族会開催時には家族へ呼びかけ認知症の理解や勉強会等行っている。</p>		勉強会として、家族と共に体験をしながら麻痺の方への着替え、移動の学習。また、成年後見制度について等行っている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	評価の意義とねらいについて管理者・職員で話し合い、ユニットごとに自己評価に取りんでいる。又、外部評価の結果をもとに、改善計画を職員全員で話し合い改善にむけ取り組んでいる。		
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議後には必ず質問・意見・感想を聞いている。上げられた検討事項や懸案事項については経過を報告している。話し合いをもとにより良いサービスの提供を目指し努力している。		
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	必要時、市町村担当者に相談している。		
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	必要なケースの場合管理者が対応しているが、身体拘束・虐待防止委員会で制度について取り上げ勉強会の際職員に説明し学ぶ機会をもうけている。		
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待がおこる事の無い様、勉強会の際には話す機会をもうけている。また、虐待防止委員会があり常に注意をはらい防止に努めている。		
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約内容をきちんと説明し同意を貰っている。利用者様の状態の変化により契約解除になる場合は本人、家族等に相談し対応している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者様の日々の様子、言葉や態度から思いを察する努力を行い、不安や意見等出された際にはミーティング時に話し合いを行っている。		
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	暮らしぶりや健康状態については電話にて伝えている。領収書は原本、金銭帳はコピーし一ヶ月に一回家族へ報告。又、残金残り確認書も一緒に送り、確認し印鑑を押して頂いている。ホーム側、家族側にて保管している。		家族がホームに来られた際にも生活、健康面を報告している。
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会を三ヶ月に一回程度ではあるが開き、家族同士話し合う機会を設けその後意見や苦情を受け付け、対応している。		相談窓口を設置し、玄関前には相談苦情箱を設けている。
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月一回のミーティングの際に意見を聞いている。また、日常的に何でも話して貰える様促し、職員の声を大切に意欲の向上や質の確保に努めている。		
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	利用者様の状態やペースに合わせて勤務体制を整えている。又、そのつど必要に応じて柔軟に職員の配置を考え対応している。		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	移動する事が極力無いように努めている。やむを得ない場合、時期や引継ぎの面で最善の努力を行い利用者様のダメージの無いように配慮している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>		
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>		
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>		本人の意向を重視しながら資格所得に努めて貰っている。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>		
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>25 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人、家族と話し合いを行い必要なサービス、支援を見極め対応に努めている。</p>		
<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>26 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>	<p>本人、家族の方にホームへ見学に来てもらい雰囲気を見てもらったり、又すぐに利用になる場合には利用者様の気持ちに配慮し、慣れて頂けるまで御家族の協力のもと来て頂く等工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>27 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>	<p>生活の場として教えて貰ったり、料理の下準備を一緒に行ったりと支えあえる関係作り、場面作りに努力、配慮している。</p>		無理の無い程度で一緒に行っている。
<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>28 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>行事の参加、勉強会への呼びかけを行い御家族の協力を得、家族、利用者様、スタッフ共に支えあえる機会をもうけている。又、家族の方の面会時には声を掛け利用者様の状態や様子、職員の思い等細かく伝えている。</p>		
<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>29 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。</p>	<p>利用者様、家族のパイプ役になれる様支援している。</p>		家族に行事、勉強会、家族会の声を掛け参加して頂いている。
<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>30 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>支援しているが年々少なくなっている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>31 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。</p>	<p>利用者様同士の関係について職員は情報連携し把握に努め、共有出来る様にしている。又、日々の変化を注意深く見守るようにしている。</p>		
<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>32 サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。</p>	<p>継続的に付き合いが出来る様に心がけてはいるが病気悪化にて終了する事が多いので今現在、継続的に付き合いをしている利用者様、ご家族がいない。</p>		
<p>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>			
<p>1. 一人ひとりの把握</p>			
<p>○思いや意向の把握</p> <p>33 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日々生活の中で声を掛け把握に努めている。意思疎通が困難な方の場合には家族から話を聞き情報を貰っている。</p>		
<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>34 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>本人や家族、ケアマネの方より情報を貰っている。</p>		
<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>35 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。</p>	<p>利用者様一人ひとりの生活リズムを理解し、利用者様の把握に努めている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>			
<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>36 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。</p>	<p>アセスメントを含め職員全員でミーティングを開き、意見交換を行い介護計画にいかしている。</p>		<p>本人や家族の要望も聞き作成している。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>37 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な管理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p>	<p>家族や本人の要望を聞き、取り入れ、期間が終了前に見直しを行う。又、状態変化の際は終了する前であっても新たに作成し常に検討、見直しを行っている。</p>		
<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>38 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>経過記録を個別に記載し、水分・食事量・排泄等細かく記入。日々の様子や本人の言葉等も記録に残し個別記録をもとに介護計画の見直しに活かしている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>39 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。</p>	<p>本人、家族の状況に応じ通院、受診等必要な支援は柔軟に対応、支援している。</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
<p>○地域資源との協働</p> <p>40 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。</p>	<p>利用者様が安心して地域で暮らし続けられるよう対応、支援している。又、ボランティアへの協力を呼びかけている。</p>		
<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>41 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。</p>	<p>利用者様の状況、希望に応じ配食、訪問理美容を利用している。</p>		
<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>42 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。</p>	<p>運営推進会議を通し少しずつではあるが関係が強化。しかし、一年一年包括の方が変わってしまい残念な部分もある。去年以上に情報交換、協力関係が築けるよう努めて行きたい。</p>		



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>43 ○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>希望する医療機関への受診を支援している。又、ホームに看護師がおり日々利用者様の健康管理に努めている。基本的には家族対応の受診となっているが不可能な際は代行している。</p>		
<p>44 ○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>提携医療機関に専門医がおり連携を取りながら状態にあわせて相談や治療を行う事ができている。</p>		
<p>45 ○看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>看護師がおり気軽に相談できる。看護師がいない時間帯の事は介護職員の記録をもとに連絡、連携を取っている。急変時には24時間オンコール体制で常に看護師と連絡が取れるようになっている。又、看護師と医療機関との連絡も密に取れる体制が確保されている。</p>		
<p>46 ○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>ホームに看護師がおり、看護師が医療機関と情報交換や相談を行い早期退院に努めている。又、入院時には本人への支援方法に関する情報を医療機関に提供し、出来るだけ職員が見舞うようにし、速やかな退院支援に結びつけている。</p>		
<p>47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>重度化に伴い必要時家族を交え話し合いを行い、事業所が対応し得るケアについて説明をしている。終末期に関する対応の指針を契約時には説明している。現在まで終末期を迎えたケースはなく、今後に向けスムーズに対応出来る様日ごろから話し合いを持つようにしている。</p>	○	
<p>48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>本人や家族の意向を踏まえ、医師・職員が連携を取り、安心、納得した最期を迎える事が出来るよう随時意思を確認しながら取り組んでいる。</p>	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>今までの暮らしが継続出来る様、これまでの生活状況、支援内容、注意点について情報を提供しダメージを防ぐよう努め、連携を心がけている。</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>利用者様一人ひとりを尊重した言葉かけや対応を行う様に努力している。又、記録等他の方の目にふれる事の無い様扱っている。</p>		
<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>職員側から押し付ける事はせず、一人ひとりの利用者様が自分で決定出来る様な場面を作り支援している。</p>		
<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>体調やその日、そのときの本人の気持ちに合わせ、一人ひとりのペースにあった生活が出来る様支援している。</p>		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>自己決定が可能な利用者様は本人の意向で決めている。又、自己決定が困難な利用者様には職員と一緒に考えオシャレをしたり家族の方に聞き取りを行い本人らしいオシャレが楽しめる様支援している。</p>		
<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者や職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>個々の好み(その日、その時の好み)を聞き、把握し献立にいかしている。又、茶碗ふき、エプロン、洗濯たたみ等無理のない程度で行って貰っている。</p>		職員も利用者様と一緒に食事をしている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	基本的には利用者様の自由になっているが喫煙の場合、職員がタバコを預かり希望にそい手渡しするようにしている。又、防火などにも配慮し、場所をきめ吸って貰うようにしている。他の利用者様に迷惑にならないよう支援している。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	一人ひとりの排泄パターンを把握し定期的に誘導している。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	利用者様の希望に合わせて対応し入浴を楽しんで貰っている。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	本人の自由な生活リズムを保てるよう配慮しているが昼夜逆転が起こらない様声がけし、日中散歩やお手伝いをしていただき安眠して頂ける様支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	特に役割は決めていないがそのつど声がけし、利用者様の負担にならない様願っている。		個別対応デーを作り気晴らし支援をしている。
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	本人の力量に応じおこずかい程度ではあるが自己管理されている。利用者が買い物される際、付き添い出来るかぎり、自分で払って頂ける様にお金を手渡すなど工夫している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	本人の希望にそい、買い物、食事等外出支援を行っている。		個別対応デーをもうけている。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	本人・家族から希望がある時には職員の勤務の調整を行いながら出来る限り支援している。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話、手紙は自由に利用できる。又、困難な利用者様には電話や手紙を書いて差し上げなど対応している。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	自由に訪問(面会)出来るようにしている。リビングや居室などお茶など飲みながらゆっくり過ごして頂いている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束については勉強し正しく理解している。又、身体拘束・虐待防止委員会をもうけチェック表にそい一ヶ月に一回拘束を行っていないか記入している。ホームでは身体拘束を一切行っていない。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	利用者様が外出しそうな様子の時はさりげなく声を掛け一緒に行き安全面に配慮し、自由に外・内を行き来出来る様にしている。		鍵を一切かけていない。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	職員は利用者様と同じ空間で記録等記入し安全面に留意し、又、夜間は1時間から2時間おきに様子を確認している。日中、夜間の様子を把握、いつでも対応出来る様にしている。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	ミーティングで職員同士話し合い、話し合った結果をもとに家族の方と再度相談し対応、検討して危険を防ぐよう取り組んでいる。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	一人ひとりの状況から危険を検討し事故を未然に防ぐ工夫に取り組んでいる。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	救命講習を職員一同受けておりすぐに対応出来る様に備えている。	○	講習を何度も受けているが不安感がある。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	災害時には緊急連絡簿によりスタッフ緊急要請、災害時マニュアルも作成している。又、災害時の避難誘導を年二回、消化訓練等定期的に行っている。		
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	一人ひとりに起こりえることをスタッフで話し合い、事例や実例をもとに家族の方に説明、話し合いをもち対応している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p>		
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>		
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p>		
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>		
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>		
78	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○食材の管理</p> <p>79 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>まな板、ふきん、調理器具は漂白し清潔に努めている。また、冷蔵庫内は酢で消毒し衛生に保つようになっている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>			
<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>80 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>手すりや椅子を設置し安心して出入り出来る様に工夫している。また、夏には畑・花。冬にはイルミネーションを飾り親しみやすい様工夫している。</p>		
<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>81 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>五感や季節感を意識し採り入れる工夫をしている。現在、畑よりラベンダーを取り共用空間に飾っている。いいにおいだね。と利用者様喜ばれている。</p>		
<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>82 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ビデオ・オーディオ前にソファーがありくつろぎのスペースとして活用して頂いている。</p>		
<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>83 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>なじみのものをおき居心地よく過ごせるように配慮している。又、思い出の写真を飾られている方もいる。</p>		
<p>○換気・空調の配慮</p> <p>84 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>利用者様に聞きながら換気、温度調節している。又、掃除の時は窓を開け換気。トイレからの悪臭が出ないように常に注意をはらっている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>利用者様の状況にそい手すりの設置、車椅子様洗面所の設置を考え対応している。無理のない自立した生活が送れるよう工夫している。</p>	
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>見やすいカレンダーを用意し日時の混乱を防ぐ工夫。コールを鳴らすことが困難な方には鈴や手作りの音のなるものをプレゼントし自分の意思による行動をお手伝い、失敗の軽減につなげている。</p>	
87	<p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>暖かい日には外のウッドデッキでお茶を飲んだり、おやつを食べたりと楽しんで頂いている。また、畑の実りの時期にはとれた物をウッドデッキで食べたりしている。</p>	



V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんど掴んでいない</li> </ul>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 毎日ある</li> <li>② <input checked="" type="checkbox"/> 数日に1回程度ある</li> <li>③ たまにある</li> <li>④ ほとんどない</li> </ul>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② 利用者の2/3くらい</li> <li>③ <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者</li> <li>② 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul>
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての家族</li> <li>② <input checked="" type="checkbox"/> 家族の2/3くらい</li> <li>③ 家族の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどできていない</li> </ul>

V. サービスの成果に関する項目		
項目		取り組みの成果
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ② <input checked="" type="checkbox"/> 数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③ <input checked="" type="checkbox"/> あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き生きと働けている	①ほぼ全ての職員が ② <input checked="" type="checkbox"/> 職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ② <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ② <input checked="" type="checkbox"/> 家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない

家族の方ではあるが毎日こられている。

参加して下さるかた(家族)が減ってきている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載) 利用者様と御家族と一緒に楽しめる行事を提供し地域の皆様と共に楽しめる様に努めている。